

評価項目	財団法人新潟市開発公社
1. 事業者の概要 経営姿勢・運営体制	<p>代表者 理事長 鈴木広志 設立 昭和39年11月13日 基本財産 1億3千万円          総収入 2,709,503千円(平成19年度) 常勤役員・職員数 役員2人,市派遣・プロパー職員104人,嘱託・臨時106人</p> <p>事業内容          旧新潟市所在体育施設・新潟市水族館・緑化関連施設管理運営, 霊苑・住宅・駐車場等公共施設建設・貸付・管理等,          市発注工事検査, 市有建築物等修繕・設計</p> <p>施設管理実績          旧新潟市体育施設, 市ふれあい健康センター(～H17), 西堀地下駐車場, 天寿園, 市公園施設, 海辺の森キャンプ場</p> <p>経営理念・経営方針          「スポーツ交流の拠点, 健康ネットワークの発信基地」          安全・安心で快適な施設空間の創出          利用者視点の高品位なサービス提供          東区の地域資源を利活用した施設運営          効率的・効果的なマネジメントの推進          地球環境にやさしい持続可能性に配慮した施設</p> <p>運営実施体制, 経営資源          持続可能で安定的な経営体力の確立          安定的な経営を担う計画的・体系的な人材育成システム          公共体育施設の管理運営実績          経営形態やニーズの高度化に対応した認証等の取得</p>
2. 平等利用確保 コンプライアンス	<p>1.誰もが平等公平に利用できる施設づくり          平等公平な利用許可, 障がい者, 子ども, 高齢者や外国人をサポート, 予約システムのサポート, 利用調整の適正実施</p> <p>2.平等利用を厳守するための研修や体制整備          新任者・在任者・委託先従業員の研修</p> <p>3.平等利用に配慮した情報発信          情報ネットワーク活用, メディアミックスによる情報発信, グローバルな対応, 新鮮な情報提供</p> <p>4.コンプライアンスの取組み          安心できる個人情報保護と情報公開, 指定管理者としての社会的規範遵守, 新しい法・制度への取組み,          プライバシーマーク取得, 法務部局・外部監視体制</p> <p>5.コンプライアンスの確立          継続的な研修等の実施, マニュアル改善</p>
3. 施設の効用の最大限発揮	<p>1.基本的な考え方          やすらぎ・安心安全 公平・平等 快適・利便 おもてなしの心</p> <p>2.サービス提供          質の高い接遇対応, 利用者ニーズの把握・反映</p> <p>3.新たな取組み          エリアサービス(開館時間・開館日の拡大, 各施設利便性向上・充実), クオリティーサービス(無料貸出ほか),          広報公聴サービス, インターンシップ等受入</p> <p>4.利用者数・稼働率拡大          教室事業新規拡大, イベント開催, 新規共同事業, 大会等企画・提案          利用者数毎年0.5%, 5年後2.5%増 48万9千人実現 稼働率初年度1%・5年後5%増</p> <p>5.自主事業の展開          スポーツ教室の開催(健康, お稽古, 痩せる, プール, 親子・キッズ, テニス), 物販サービス, レンタルサービス, サイン・広告宣伝</p> <p>6.業務履行体制          業務実施体制          企業・団体との連携, 会計システムオンライン化によるバックアップ, 指揮命令系統一元化, 統括施設長・各施設長配置,          業務精通スタッフの配置          業務管理体制          大会・イベント・プール繁忙期スタッフ増, 施設長又は副施設長常駐, 夏期プールスタッフの増員          研修計画          スタッフ全員基礎研修, 発展研修, 副館長・次期候補者研修, 年間研修実施計画</p>
4. 管理経費の縮減	<p>1.コスト管理計画・地球温暖化対策          省エネルギー          人件費削減          スケジュール作成・分析・比較等による施設修繕          施設使用料増収(市民ニーズを反映した自主事業展開, PR等)          自主事業による収益の一部還元          健康事業展開による医療費縮減</p> <p>2.管理経費(21年度, 単位:千円)          人件費 125,532, 管理費 217,514 : 合計 343,046</p> <p>3.業務委託, 業者選定          多年度包括発注          高品質な履行体制, 監理体制の確立          プロポーザル等による業者選択</p>
5. 安全管理	<p>1.未然防止・予見回避          スポーツ活動における事故防止(施設・器具・機器点検, 落雷事故防止・熱中症予防呼びかけ等)          プール事故防止(監視体制, 水質管理, 溺者救助・訓練)          防犯・防災対策          緊急時に備えた資材調達(AED, 医薬品, 避難所対応等)          資格取得講習へのスタッフ派遣</p> <p>2.危機管理体制と応急処置          緊急時対応(災害対策本部規程, マニュアル, 連絡網)          事故発生時行動チャート化          プール事故対応(訓練実施)          蘇生法・応急手当実施・対応(救護, 事故報告, 二重事故防止措置, 再発防止)</p> <p>3.危機終息後の復旧対応          緊急事態の原因究明・二次災害防止, 復旧体制の整備</p>
6. 地域交流, モニタリング	<p>1.地域社会への取組み          地域貢献, 社会活動促進, 地域に愛される施設, 共生による地域活性化</p> <p>2.社会課題への取組み          子どもたちの健全育成, 環境保全, 少子化対策, 障がい者支援</p> <p>3.地域協働への取組み          行政関連事業への参画, 関係機関・企業・団体との連携</p> <p>4.モニタリング          方法:PDCAサイクル継続, アンケート, 提案箱, 電子メールチェック体制, 利用者への声掛け, モニタリング委員会設置,          提案内容進捗総括表の活用, 所管課評価・外郭団体評価システムの活用          目標: 日本体育施設協会格付評価AAA</p>